

憲法学者 鈴木安蔵 生誕120周年 記念シンポジウム

豊橋発 平和と民主主義の憲法学



5月25日 土 13:30～16:45 ※途中入退室自由

愛知大学 豊橋キャンパス 6号館 610室

プログラム

開会のあいさつ

吉良 貴之 (愛知大学 ※開催責任者)

鈴木安蔵を顧みることの現代的意義
——憲法理論研究会の軌跡を踏まえて

志田 陽子 (武蔵野美術大学
憲法理論研究会代表)

鈴木安蔵旧蔵資料の歴史的意義

真辺 美佐 (立正大学)

鈴木安蔵と憲法研究会

——民衆から生み出す自由の憲法

戸田 舜樹 (筑波大学・院)

祖父・鈴木安蔵の思い出

安蔵・俊子長女のご令嬢
大久保 直子さん

安蔵・俊子次女のご令息
川井 信矢さん

参加
無料



オンライン同時配信

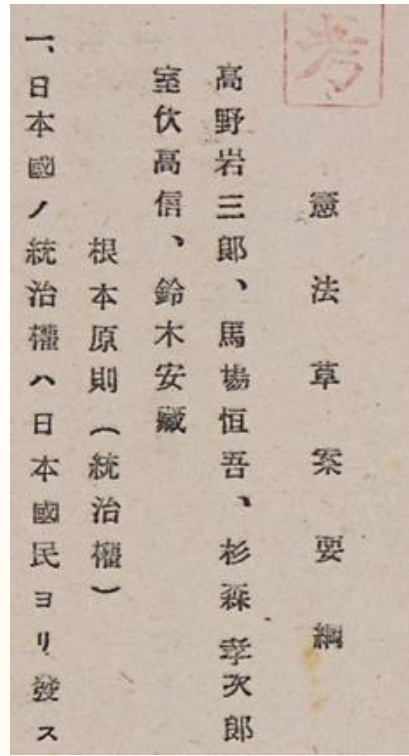
オンライン視聴をご希望の方は
QRコードからお申込みください

日本国ノ統治権ハ 日本国民ヨリ発ス 国民ハ 健康ニシテ 文化的水準ノ生活ヲ営ム権利ヲ有ス 男女ハ 公的並私的ニ完全ニ平等ノ権利ヲ享有ス

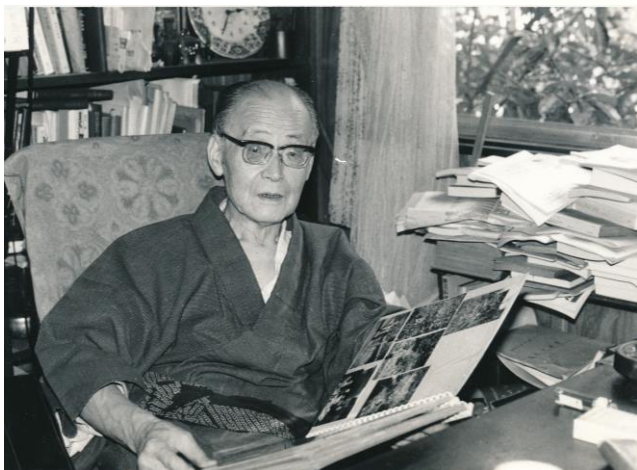
終戦からわずか四か月後、日本国憲法よりずっと早く、
国民主権や生存権の保障、男女平等を掲げた新憲法案が、
民間の研究グループ「憲法研究会」によって発表されました。
この新憲法案を起草した一人が、
のちに愛知大学・静岡大学教授となる鈴木安蔵です。

はたらけどはたらけど、労働者はなぜ貧しいままなのか？
国家は、生活のために立ち上がった労働者の運動を
なぜ弾圧するのか？
労働者や女性をはじめ「社会的に弱い地位に置かれた人びと」の
視点に立って、憲法の理想を追い続けた鈴木。
彼の足跡は、差別や格差がふたたび大きな問題となっている
現代社会に生きる私たちに何を教えてくれるのでしょうか？

生誕120周年を迎える今年、豊橋とゆかりの深い鈴木の魅力と、
わたしたちへのメッセージを一緒に考えてみませんか。



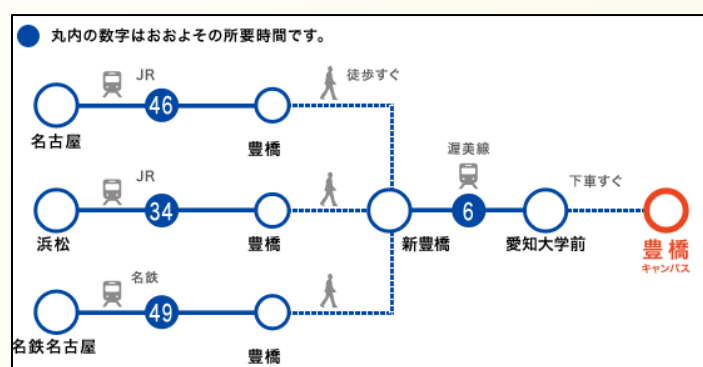
鈴木ら憲法研究会の『憲法草案要綱』は、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の手にもわたり、高い評価を受けました。
(写真：国立国会図書館)



若いころから大変な読書家で速筆だった鈴木は、憲法史研究の基礎となる多数の著作を残しました。愛知大学附属図書館にも、4000点以上の旧蔵資料が収められています。
(写真：ご遺族提供)



会場
愛知大学
豊橋キャンパス
6号館 610室
〒441-8522
愛知県豊橋市町畑町1-1
豊橋鉄道渥美線
「愛知大学前」駅すぐ



お問い合わせ先 ※対面でご参加の場合は、参加のお申し込みは不要です。
愛知大学 人文社会学研究所 TEL 0532-47-4167 mail : kira@vega.aichi-u.ac.jp (吉良 貴之)